



国を挙げて2大巨大地震対策、超少子・超超高齢化社会対策等への取組みが進む「災後」新時代。これからの「未来輝くまちづくり」には、危機にも平時にも強い「タフでしなやかな地域社会づくり」、即ち、関係機関団体・学校・NPO・異業種異分野・地域等が、世代・時空を超えて、こころひとつに「未来志向型の超連携社会」を構築していくことが求められています。さて、未来を拓く「連携・協働のスイッチ」とは？

会場
A
多目的ホール

13:00

開会のご挨拶とご祝辞

- ・ご挨拶 主催者 共同議長 村瀬 恵子氏・石附 弘 氏
- ・ご祝辞 浦安市長 松崎 秀樹 氏
- ・ご祝辞 千葉県警察本部 生活安全部長 金間 章 氏

13:15
~
14:25

基調報告 「こころひとつに未来輝くまちづくり」

- ・「連携・協働のスイッチを教えます」 学校法人 了徳寺学園 理事長 了徳寺 建二 氏
- ・防犯から多職種多領域へ広がる安全・安心なまちづくり 浦安ネット 代表 村瀬 恵子 氏
- ・空家条例で「輝くまち、輝く日本へ」 所沢市役所 危機管理課 日高 義行 氏
- ・「超連携」なくしては奇跡は起きない（「災後」社会モデル「自他非分離の適応律」） 石附 弘 氏

休憩
15分

14:40

音の架け橋 記念演奏「こころひとつに未来輝くまちづくり」

千葉県警察音楽隊



会場
A
多目的ホール

15:20
~
17:30

フォーラム これからの市民安全と超連携社会のあり方

共同議長：村瀬 恵子 氏 (NPO 浦安防犯ネット代表)・石附 弘 氏 (日本市民安全学会 会長)

＜ 超連携を繋ぐ力1：超少子化・超超高齢化社会への備え ＞

- ・超超高齢化社会に向けた様々な連携事例 シニアライフデザイン 堀内 裕子 氏
- ・高齢者が輝くお手伝いの秘訣とは？ 地域包括支援センター保健師 森林 友佳子 氏
- ・認知症の方の命を守る！（警察等の連携活動） 千葉県警察本部 中川 秀二 氏

＜ 超連携を繋ぐ力2：若い力・学校・駅・音楽・青パト ＞

- ・若い力が集まれば、新しい輝くまちが生まれる（大学生（高校生）連携例） 浦安 V5
- ・学校と地域が繋がれば、生徒が自立する 横浜市立 南高等学校 校長 鈴木 英夫 氏
- ・駅で分断されたまちを繋いで、まちが輝いた 神奈川県警察本部 川井 洋 氏
- ・音の架け橋で、輝くまちを創る！ 千葉県警音楽隊 隊長 平林 徹 氏
- ・青パトを活用した地域づくりについて 日本財団 高木 萌子 氏

会場
B
中ホール

15:20
~
17:30

分科会 1 浦安に学ぶ避難所運営（発災時の連携をめぐる諸課題について）

座長：小澤 光男 氏（横須賀市消防局）／副座長：後藤 一明 氏（春日井市災ボラ連絡会）

- ・被災地浦安からのメッセージ（我々は何を学んだのか） 浦安市 危機管理監 澤島 博 氏
- ・これからの備える避難所運営訓練と課題 厚木市 危機管理部長 岩澤 栄一 氏
- ・ボランティア発案の避難所運営訓練と課題 春日井市 災害ボランティア連絡会 後藤 一明 氏
- ・被災地からの報告、そしてこれから（学校避難所事例） 浦安市立 舞浜小学校 校長 森泉 良一 氏
- ・特別報告：その時、航空自衛隊は？（被災地支援） 千葉地方協力本部 1等陸尉 野澤 俊二 氏

会場
C
小ホール

15:20
~
17:30

分科会 2 こころひとつに未来輝くまちづくり (WHO推奨「セーフコミュニティ」に学ぶ)

座長：倉持 隆雄 氏 (日本市民安全学会副会長)／コメンテータ：山本 俊哉 氏 (明治大学)

- ・アジアにおけるセーフコミュニティの多様性 明治大学 山本 俊哉 氏
- ・コミュニティの絆と安心・安全 厚木市セーフコミュニティ推進課 梅落 秀一 氏
- ・「区民ひろば」を活用したセーフコミュニティ活動の展開 豊島区 部長 齊藤 雅人 氏
- ・セーフコミュニティ国際審査員の事前審査を終えて 秩父市 危機管理課 山田 省吾 氏
- ・セーフコミュニティの広がりを目指して 札幌市立大学 山田 典子 氏
- ・亀岡市における超連携社会の試み 京都府亀岡市 前理事 山内 勇 氏